

校長先生
教職員の皆さま

夢洲カジノを止める大阪府民の会 <https://vosakaf.net/>
〒536-0008 大阪市城東区関目6丁目4番2-103
山川よしやす(事務局長)電話:090-8536-3170
TEL・FAX:06-6936-3073
メール: stop-casino@vosakaf.net

日々の教育活動にお忙しい中、突然の連絡で失礼いたします。人命に関わる事ですのでどうかご容赦ください。私たちは大阪府下の各市町村で「夢洲カジノ万博の開催中止」を求めて活動している市民団体のネットワークです。2025年の大阪・関西万博は、ギャンブル依存症などの問題を招き、周りの人々も不幸にするカジノ建設を前提としたものであり、会場のある夢洲の環境そのものの危険性から中止を呼びかけています。

この度、書状をさしあげましたのは、吉村大阪府知事が2023年8月30日に発表しました「府内在住の4~18歳の子供達への万博への無料招待」に関連する夢洲の情報提供をするためです。

私たちは、万博協会・大阪府市・各教育委員会に、危険な万博への子供達の招待事業の中止を求め、大阪府下の全小中学校、支援学校に情報提供をしました。その中で、以下に示しました夢洲の危険性のほか、バスの手配や地下鉄での引率、昼食場所・熱中症対策など、実施計画自体の不安要素が数多く明らかになってきました。今回、貴校をはじめ高等学校・高等専修学校等に連絡させていただいたのは、大阪府教育委員会等への問い合わせなどで、高校等の取り組みは、現地集合現地解散が基本であること、高校生を対象にしたボランティア募集や多くの参加プロジェクトの取り組みについて各校に依頼していることが分かり、下記のような危険性を知らされていない子供達が、参加することで健康被害や命の危険にさらされることを懸念したからです。

① 2024年3月28日、大阪・関西万博会場の建設中にメタンガスの引火による爆発火災事故が発生しました。その後、4月22日に工事が再開されましたが、唯一の対策は現場の建設作業員によるガス測定の強化でした。爆発事故後、大阪府知事が推進する「子供無料招待事業」について保護者や教育機関から懸念の声が上がり、教職員組合などさまざまな団体が「安全でない場所に子供を連れて行くのは無理だ」として招待事業の中止を求めています。最近になってメディア報道がされるようになりましたが、未だ、爆発事故について知らない方がたくさんいます。

夢洲はごみの最終処分場であるため、有害物質が埋められ、メタンガスなどが絶えず排出されており、爆発現場はもともと立ち入り禁止区域でした。国会でも以前から爆発事故の危険性が指摘されており、夢洲駅建設時にもメタンガスが噴出し、高額な費用をかけて対策が講じられました。夢洲は浚渫土砂(汚泥)と建設残土が埋まり、今後もメタンガスなどの有害ガスが排出され続け、地震による液状化は避けられません。工事中だけでなく、万博期間中も爆発の危険性があります。先日も、1月から3月の間にパビリオン用地4か所でもメタンガスが検出されていたことが明らかになりました。

② 夢洲はまれにみる軟弱地盤で、水はけも非常に悪く、工事中も沈下が起こっています。また、海上のため遮るものがなく、台風21号では会場隣接のコンテナターミナルのコンテナが転倒、流出しました。木製リングやパビリオンについても強風や高潮などによる被害が懸念されています。

③ 万博期間中も、会場のすぐ隣でIR・カジノ用地の土壌改良や液状化対策工事が実施され、ダイオキシン、PCB、ヒ素、フッ素、水銀、セシウム(東日本大震災の原発事故による瓦礫の焼却灰)を含む粉塵が飛散する恐れがあります。

④ 夢洲へのアクセスルートは2本しかなく、夢舞大橋は強風で通行止めに、夢咲トンネルは昨年6月も大雨で冠水し通行止めに なっています。会場のある此花区は殆どがマイナス海拔(此花消防署は-1.5メートル)で、救助や避難ができない状況にも関わらず、万博会場の防災・避難計画は未だ策定されていません。大雨や台風が頻発する時期に開催され、南海トラフ地震の可能性もあります。

子供たちの命と健康を守るために、夢洲万博への遠足や様々な取り組みへの参加等については十分にご検討をいただきますようお願い致します。保護者の皆さま、生徒の皆さまにも、情報提供をよろしくようお願い申し上げます。

夢洲カジノを止める大阪府民の会 <https://vosakaf.net/>
〒536-0008 大阪市城東区関目6丁目4番2-103
山川よしやす(事務局長)電話:090-8536-3170
TEL・FAX:06-6936-3073
メール: stop-casino@vosakaf.net

日々の活動にお忙しい中、突然の連絡で失礼いたします。人命に関わる事ですのでどうかご容赦ください。

私たちは大阪府下の各市町村で「夢洲カジノ万博の開催中止」を求めて活動している市民団体のネットワークです。2025年の大阪・関西万博は、ギャンブル依存症などの問題を招き、周りの人々も不幸にするカジノ建設を前提としたものであり、会場のある夢洲の環境そのものの危険性から中止を呼びかけています。

この度、書状をさしあげましたのは、吉村大阪府知事が2023年8月30日に発表しました「府内在住の4~18歳の子どもの万博への無料招待」に関連する夢洲の情報提供をするためです。

私たちは、万博協会・大阪府市・各教育委員会に、危険な万博への子ども達の招待事業の中止を求め、大阪府下の全小中学校、支援学校に情報提供をしました。その中で、以下に示しました夢洲の危険性のほか、バスの手配や地下鉄での引率、昼食場所・熱中症対策など、実施計画自体の不安要素が数多く明らかになってきました。今回、高等学校・高等専修学校等在籍生徒の保護者の皆さまに連絡させていただいたのは、大阪府教育委員会等への問い合わせなどで、高校等の取り組みは、現地集合現地解散が基本であること、高校生を対象にしたボランティア募集や多くの参加プロジェクトの取り組みについて各校に依頼していることが分かり、下記のような危険性を知らされていない子ども達が、参加することで健康被害や命の危険にさらされることを懸念したからです。

- ① 2024年3月28日、大阪・関西万博会場の建設中にメタンガスの引火による爆発火災事故が発生しました。その後、4月22日に工事が再開されましたが、唯一の対策は現場の建設作業員によるガス測定の強化でした。爆発事故後、大阪府知事が推進する「子ども無料招待事業」について保護者や教育機関から懸念の声が上がり、教職員組合などさまざまな団体が「安全でない場所に子どもを連れて行くのは無理だ」として招待事業の中止を求めています。最近になってメディア報道がされるようになりましたが、未だ、爆発事故について知らない方がたくさんいます。

夢洲はごみの最終処分場であるため、有害物質が埋められ、メタンガスなどが絶えず排出されており、爆発現場はもともと立ち入り禁止区域でした。国会でも以前から爆発事故の危険性が指摘されており、夢洲駅建設時にもメタンガスが噴出し、高額な費用をかけて対策が講じられました。夢洲は浚渫土砂(汚泥)と建設残土が埋まり、今後もメタンガスなどの有害ガスが排出され続け、地震による液状化は避けられません。工事中だけでなく、万博期間中も爆発の危険性があります。先日も、1月から3月の間にパビリオン用地4か所でもメタンガスが検出されていたことが明らかになりました。

- ② 夢洲は、まれにみる軟弱地盤で、水はけも非常に悪く、工事中も沈下が起こっています。また、海上のため遮るものがなく、台風21号では会場隣接のコンテナターミナルのコンテナが転倒、流出しました。木製リングやパビリオンについても強風や高潮などによる被害が懸念されています。
- ③ 万博期間中も、会場のすぐ隣でIR・カジノ用地の土壌改良や液状化対策工事が実施され、ダイオキシン、PCB、ヒ素、フッ素、水銀、セシウム(東日本大震災の原発事故による瓦礫の焼却灰)を含む粉塵が飛散する恐れがあります。
- ④ 夢洲へのアクセスルートは2本しかなく、夢舞大橋は強風で通行止めに、夢咲トンネルは昨年6月も大雨で冠水し通行止めになっています。会場のある此花区は殆どがマイナス海拔(此花消防署は-1.5メートル)で、救助や避難ができない状況にも関わらず、万博会場の防災・避難計画は未だ策定されていません。大雨や台風が頻発する時期に開催され、南海トラフ地震の可能性もあります。

子どもたちの命と健康を守るために、学校および保護者の皆さまには、夢洲万博への遠足や様々な取り組みへの参加等については十分にご検討をいただきますようお願い申し上げます。

生徒の皆さま

夢洲カジノを止める大阪府民の会 <https://vosakaf.net/>
〒536-0008 大阪市城東区関目6丁目4番2-103
山川よしやす(事務局長)電話:090-8536-3170
TEL・FAX:06-6936-3073
メール: stop-casino@vosakaf.net

日々の勉強や様々な活動にお忙しい中、突然の連絡で失礼いたします。人命に関わる事ですのでどうかご容赦ください。私たちは大阪府下の各市町村で「夢洲カジノ万博の開催中止」を求めて活動している市民団体のネットワークです。2025年の大阪・関西万博は、ギャンブル依存症などの問題を招き、周りの人々も不幸にするカジノ建設を前提としたものであり、会場のある夢洲の環境そのものの危険性から中止を呼びかけています。

この度、書状をさしあげましたのは、吉村大阪府知事が2023年8月30日に発表しました「府内在住の4~18歳の子ども達の万博への無料招待に関連する夢洲の情報提供をするためです。

私たちは、万博協会・大阪府市・各教育委員会に、危険な万博への子ども達の招待事業の中止を求め、大阪府下の全小中学校、支援学校に情報提供をしました。その中で、以下に示しました夢洲の危険性のほか、バスの手配や地下鉄での引率、昼食場所・熱中症対策など、実施計画自体の不安要素が数多く明らかになってきました。今回、貴校をはじめ高等学校・高等専修学校に連絡させていただいたのは、大阪府教育委員会等への問い合わせなどで、高校等の取り組みは、現地集合現地解散が基本であること、高校生を対象にしたボランティア募集や多くの参加プロジェクトの取り組みについて各校に依頼していることが分かり、下記のような危険性を知らされていない生徒の皆さまが、参加することで健康被害や命の危険にさらされることを懸念したからです。

① 2024年3月28日、大阪・関西万博会場の建設中にメタンガスの引火による爆発火災事故が発生しました。その後、4月22日に工事が再開されましたが、唯一の対策は現場の建設作業員によるガス測定の強化でした。爆発事故後、大阪府知事が推進する「子ども無料招待事業」について保護者や教育機関から懸念の声が上がり、教職員組合などさまざまな団体が「安全でない場所に子どもを連れて行くのは無理だ」として招待事業の中止を求めています。最近になってメディア報道がされるようになりましたが、未だ、爆発事故について知らない方がたくさんいます。

夢洲はごみの最終処分場であるため、有害物質が埋められ、メタンガスなどが絶えず排出されており、爆発現場はもともと立ち入り禁止区域でした。国会でも以前から爆発事故の危険性が指摘されており、夢洲駅建設時にもメタンガスが噴出し、高額な費用をかけて対策が講じられました。夢洲は浚渫土砂(汚泥)と建設残土が埋まり、今後もメタンガスなどの有害ガスが排出され続け、地震による液状化は避けられません。工事中だけでなく、万博期間中も爆発の危険性があります。先日も、1月から3月の間にパビリオン用地4か所でもメタンガスが検出されていたことが明らかになりました。

② 夢洲はまれにみる軟弱地盤で、水はけも非常に悪く、工事中も沈下が起こっています。また、海上のため遮るものがなく、台風21号では会場隣接のコンテナターミナルのコンテナが転倒、流出しました。木製リングやパビリオンについても、強風や高潮などによる被害が懸念されています。

③ 万博期間中も、会場のすぐ隣でIR・カジノ用地の土壌改良や液状化対策工事が実施され、ダイオキシン、PCB、ヒ素、フッ素、水銀、セシウム(東日本大震災の原発事故による瓦礫の焼却灰)を含む粉塵が飛散する恐れがあります。

④ 夢洲へのアクセスルートは2本しかなく、夢舞大橋は強風で通行止めに、夢咲トンネルは昨年6月も大雨で冠水し通行止めに なっています。会場のある此花区は殆どがマイナス海拔(此花消防署は-1.5メートル)で、救助や避難ができない状況にも関わらず、万博会場の防災・避難計画は未だ策定されていません。大雨や台風が頻発する時期に開催され、南海トラフ地震の可能性もあります。

どうか、夢洲万博への遠足や様々な取り組みへの参加に伴う危険性についてご理解いただき、生徒の皆さまご自身、ご友人やご家族の皆様の命と健康を第一にお考え下さいますよう、切に願っております。